

人権啓発ビデオをお貸しします

後編

これまでの地区別人権教室で活用した人権啓発ビデオを掲載します。

どの作品も上映時間は30分程ですので、各地区やグループでの活動でビデオを視聴し、いろいろな「人権」について考えてみませんか？ご家庭にもお貸しすることができますので、ご希望の作品がありましたら教育課（電話番号：34-0212）までぜひお問い合わせください。

作品名	テーマ・内容
<p>カンパニユラの夢</p> 	<p>「超高齢化社会とひきこもり」 麻帆は、あることをきっかけに、「ひきこもり」は誰にでも起こり得ることだと気づきます。一方、20年以上ひきこもり状態にある谷口誠一とその両親は、問題が長期化する中で、解決の糸口すら見いだせないまま苦悩しています。そして、麻帆は谷口家の抱える問題に寄り添い、解決策を求め行動を起こします。 急速に高齢化が進む今、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす内容となっています。</p>
<p>サラーマット</p> 	<p>「SNS時代における外国人の人権」 珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」と捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方を持つミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。 珠美とミランダの姿を通して、外国人は「受け入れてあげる存在」でも「労働力」でもなく、助け合うことができる対等な仲間であること、そして、SNSを人の心と心をつないでいくために利用する様子を描いています。</p>
<p>君が、いるから</p> 	<p>「子ども・若者の人権」 母親からの心理的虐待に悩む若者「奏」が、主人公です。生き方を制限され、自分が愛されていると感ずることができず自己肯定感の低い彼女が、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに、少しずつ変わっていきます。彼女は、そこで出会う人々とのふれあいを通して、新たな価値観に気づきます。ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることを奏の成長を通して描いています。</p>
<p>あした咲く</p> 	<p>「女性の人権」 女性が輝く社会の実現に向けて、これまで様々な取組が進められてきました。しかし、現状は、職場や地域における女性の能力発揮のための環境整備や意識改革は、必ずしも十分ではありません。 この作品は、それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えている生き方の異なる姉妹が登場し、姉妹の対立や父との対話、そして、地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づき、自分で自分の生き方を選択し、女性はもちろん、すべての人が輝ける社会の実現をめざす内容となっています。</p>
<p>風の匂い</p> 	<p>「障がいのある人の人権」 社会の中にあるバリアは、物理的な問題だけではなく、障がいのある人への差別意識や知識不足からも生まれています。私たち一人ひとりが意識を変えて、「バリア=壁」をなくしていかなければなりません。 スーパーマーケットで働く二人の青年が主人公です。その一人には知的障害がありますが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障がい者という壁。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある『合理的配慮』についても触れています。</p>